

平成31年度



# ふくおかしの 家計簿

## 目次

### 予算とは？何に使っているの？

- 予算って何？平成31年度の予算は？……………01
- 収入(歳入)と支出(歳出)の内訳は？……………01~02
- 市民一人あたりにすると？……………03
- 予算を「家計」に例えると？……………04
- どのような事業に使うの？……………05~10

### 福岡市の財政状況はどんなの？

- 借金はいくらあるの？他の政令指定都市と比べるとどうなの？…11
- なぜ借金が増えたの？借金は何に使っているの？……………12
- 収入や支出はどうなってるの？……………13~14
- 福岡市の財政状況のまとめ……………14

### 福岡市の財政をどうやりくりしていくの？

- 財政の現状と見通しは？……………15
- 将来にわたり持続可能な財政運営に向けた取組みの方向性は？……………16
- 将来にわたり持続可能な財政運営に向けた平成31年度における取組みは？…17~18
- PPPを活用した施設整備が進んでいます……………19~20

福岡市の  
平成31年度予算  
財政状況  
将来にわたり持続可能な財政  
運営に向けた取組み  
を紹介します！

# 1 予算とは？ 何に使っているの？

〔この冊子で使われている数値は、各項目で四捨五入していることがあるため、合計などが一致しない場合があります。〕

## ●予算って何？

福岡市に1年間に入ってくる収入を見積もり、その使い道を決めるのが予算です。つまり、みなさんが納めた税金などが、どのような事業にどれくらい使われるのかを示したものです。

## ●どのような予算があるの？

予算は、どの収入がどこに使われているのか、収入と支出の関係をはっきりさせるために3つの会計（一般会計、特別会計、企業会計）に区分しています。

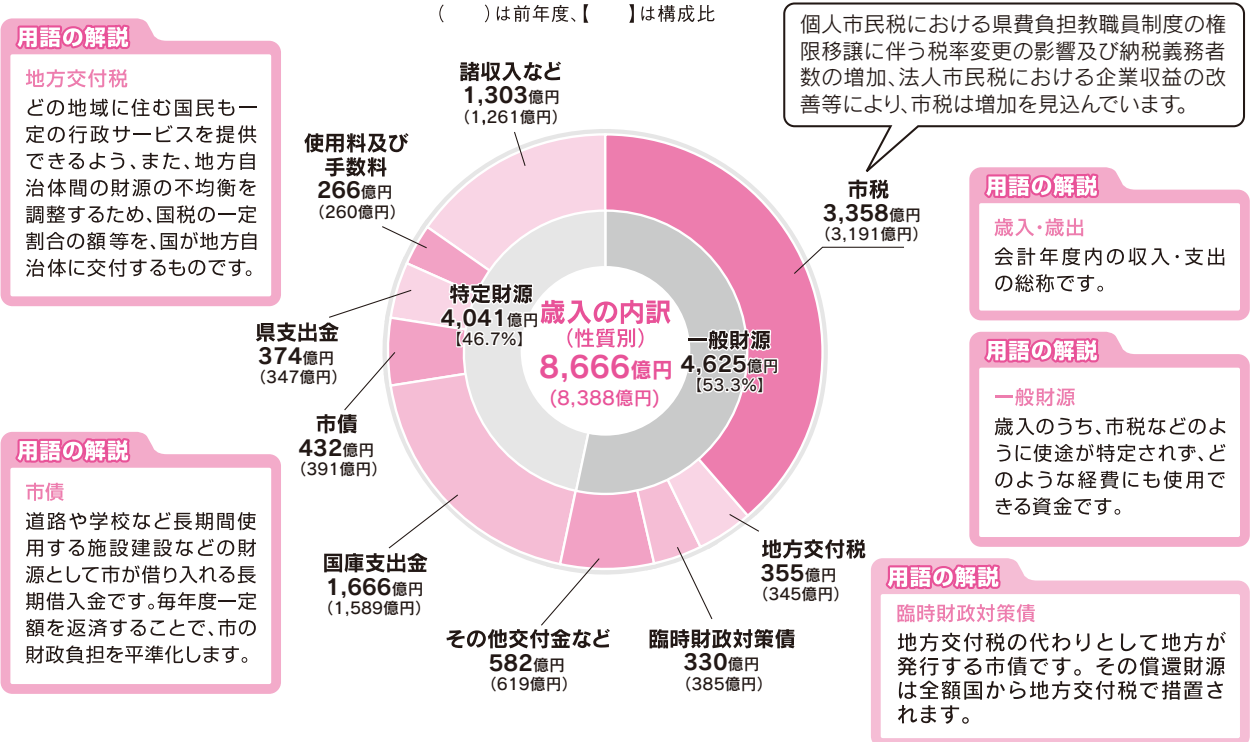
## ●平成31年度の予算は？（ ）は前年度

<b>用語の解説</b> <b>一般会計</b> 福祉、教育などの行政の基本的な事業を行う会計(予算の中心)です。	◎全会計 <b>1兆9,240億円</b> (1兆8,765億円)	前年度比 2.5%増	一般会計の予算は、過去最大の規模となっており、政令指定都市(20都市中)では、大阪市、横浜市、名古屋市、札幌市について5番目の規模です。
	◎一般会計 <b>8,666億円</b> (8,388億円)	前年度比 3.3%増	
	◎特別会計 <b>7,415億円</b> (7,348億円)	前年度比 0.9%増	特別会計は、使用料など特定の収入で、特定の事業を行う場合などに設ける会計です。福岡市には現在15会計(国民健康保険事業、介護保険事業など)があります。
	◎企業会計 <b>3,158億円</b> (3,030億円)	前年度比 4.2%増	企業会計は、民間企業と同じように事業収益で賄われている会計です。福岡市には、現在5会計(モーターボート、下水道、水道、工業用水、地下鉄)あります。

## ●収入(歳入)と支出(歳出)の内訳は？

### ①一般会計の収入(歳入)

収入には、市税のほか国や県から交付されるお金や借入金などがあります。

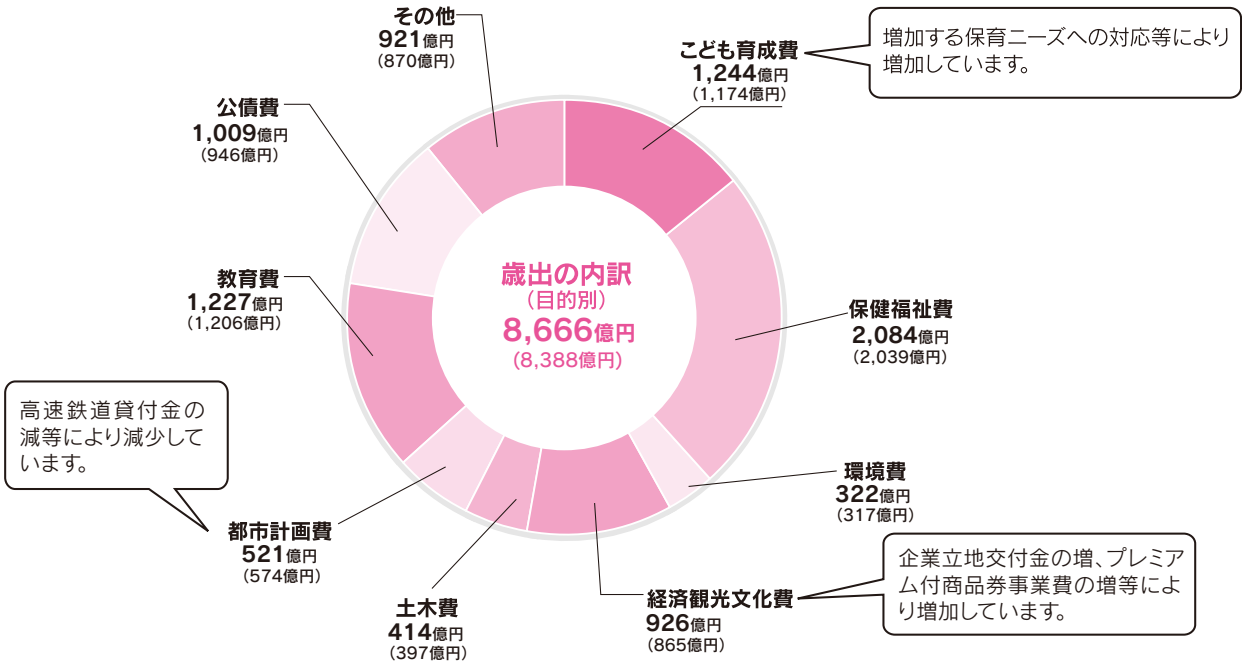


## ②一般会計の支出(歳出)

### 【目的別】

予算では、子育て、福祉など目的ごとにどれだけ使うのか定めています。

( )は前年度



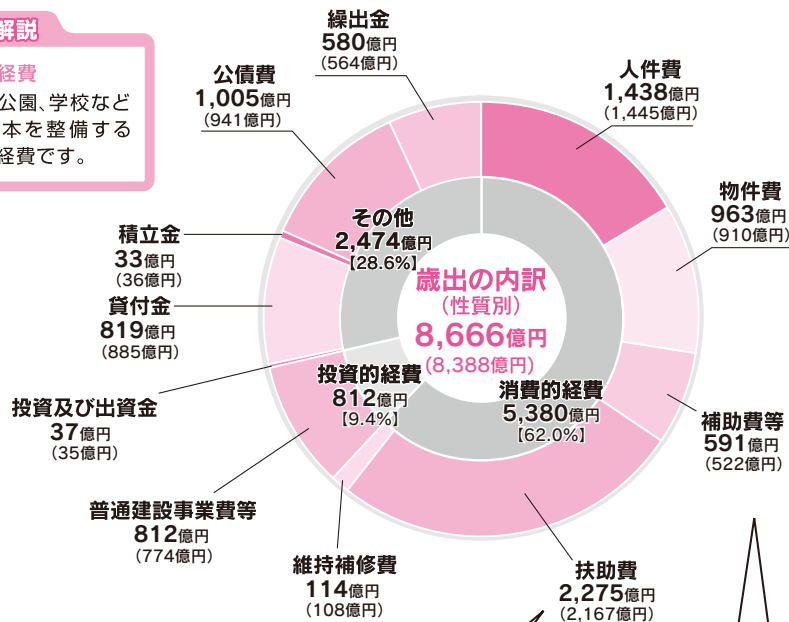
### 【性質別】

予算は、目的別だけではなく、人件費や物件費など性質による分類からどれだけ使うのか見ることができます。( )は前年度、【 】は構成比

#### 用語の解説

##### 投資的経費

道路や公園、学校など社会資本を整備するための経費です。



#### 用語の解説

##### 物件費

光熱水費、消耗品費、施設の管理費などです。

#### 用語の解説

##### 扶助費

生活保護費などの医療・福祉のための経費です。













#### 用語の解説

##### 緑出金

国民健康保険など特別会計に支出する経費のことです。

## ●市民一人あたりにすると？

一般会計の予算を市民一人あたりに換算すると約56万円となり、市民生活の向上や地域経済の活性化などいろいろな施策に取り組んでいます。

	平成31年度予算		
	億円	市民一人あたりの予算	
 保健・医療・福祉に	2,097	136,100	(24.2%)
 学校や教育に	1,298	84,200	(15.0%)
 こどもの育成に	1,247	81,000	(14.4%)
 地域経済の発展に	1,059	68,700	(12.2%)
 道路・住宅・計画的なまちづくりに	883	57,300	(10.2%)
 行政の運営に	638	41,400	(7.3%)
 災害に強いまちに	430	27,900	(5.0%)
 清潔なまちに	331	21,500	(3.8%)
 地域活動・文化・スポーツに	234	15,200	(2.7%)
 地下鉄・水道事業の支援に	193	12,500	(2.2%)
 公園整備や緑の保全に	164	10,700	(1.9%)
 新鮮で安全な食料の提供に	92	6,000	(1.1%)
合計	8,666	562,500	(100.0%)

高齢者も障がい者も誰もが住みやすいまちづくりを進めます。

新たな保育ニーズへの対応など、健やかな子ども育成に積極的に取り組みます。

地域コミュニティの活性化など、支えあいとつながりのあるまちづくりに取り組みます。

市民一人あたりの予算約56万円は、20政令指定都市中、2番目の多さです。

※平成30年12月末現在の人口(154万923人)で割っています。

※( )内は、構成比を示しています。

## ●予算を「家計」に例えると？

一般会計の予算(8,666億円)を年間の収支が500万円(1月あたり41万6,000円)の家計に置き換えて説明します。

給与のうち、基本給の多くが市民の皆さんが納めた市税です。  
諸手当のうち、地方交付税は、どの市町村も標準的なサービスを受けられるよう地域間格差を解消するため、国から交付されるものです。  
また、国・県支出金は、生活保護や道路整備など市の事業の一部を国や県が一定割合を負担するものです。

### ふくおか家・1カ月の家計簿

#### 《収入》

給与	33万6,000円
（うち基本給 （市税などの自主財源） 諸手当）	19万9,000円 13万7,000円
銀行からの借入 （市債）	3万6,000円
貸したお金の返済金 （貸付金元利収入）	4万4,000円
計	41万6,000円

#### 《支出》

医療費・保育料など （扶助費）	10万9,000円
ローンの返済 （公債費）	4万8,000円
食費 （人件費）	6万9,000円
光熱費や通信費など （物件費）	4万8,000円
家・車・電化製品の修理・買い換え （維持補修費、普通建設事業費等）	4万5,000円
家族への仕送り （繰出金、補助費）	5万6,000円
友人などへ貸すお金 （貸付金等）	4万1,000円
計	41万6,000円

義務的経費

ローンを4万8,000円返済する一方、  
新たな借入は3万6,000円に抑えました。  
借金残高を減らすよう努力しています。

医療費・保育料など(扶助費)、ローンの返済(公債費)、  
食費(人件費)、の3つは、「義務的経費」と呼ばれています。

これが多いのは、一般家庭のエンゲル係数(家計における食費の占める割合)が高いことと同じで、家計にあまり余裕がないことを意味します。ちなみに、福岡市の歳出総額に占める義務的経費の割合は、54.4%となっており、政令市平均の56.6%と比べると、やや低い状態です。

## ●どのような事業に使うの？

「都市の成長」と「生活の質の向上」の好循環を確固たるものとし、福岡市を次のステージへと飛躍させるチャレンジを着実に進めるため、以下の事業等を実施します。

## 「生活の質の向上」を実感できるまち

### 安心して生み育てられる環境づくり

#### 幼児教育・保育無償化

36億2,440万円

幼稚園、保育所、認定こども園等を利用する3～5歳児及び住民税非課税世帯の0～2歳児の利用料を無償化します。



#### 保育所等整備の推進

39億5,443万円

多様な手法により企業主導型保育事業を含め3,000人分の保育の受け皿を確保します。



#### 保育士奨学金返済支援事業補助金

8,328万円

奨学金を利用し資格を取得した正規保育士に当初の返済期間の1/2の間、返済額を助成します。

#### 小・中学校における医療的ケア支援

3,409万円

特別支援学校に加え、医療的ケアが必要な児童生徒がいる小・中学校に看護師を配置します。



教育委員会で看護師を配置

### すべての子どもの未来を育む

#### 新生児聴覚検査

6,923万円

先天性難聴を早期に発見し支援するため、新生児全員を対象に、初回の検査費用を公費負担します。



#### 予防接種(小児分)

105万円

骨髄移植等により免疫を失った方に対して、再接種費用を助成します。



#### 虐待防止緊急総合対策関連事業

701万円

児童虐待防止対策を強化するため、広報・啓発の強化や養育環境を確認できない子どもの家庭訪問を実施します。

#### 高等学校における通級指導の実施

699万円

市立高校において、発達障がい等のある生徒に対する通級指導を実施します。



## 教育環境の充実

### 教育ICT活用推進事業

1億5,065万円

ICTを活用した教材の共有等により、教育の質の向上及び教員の負担軽減を図ります。

また、小中一貫教育を開始する能古小中学校に児童生徒用タブレット等を整備し、最先端のICT教育を実施します。



### SNSを活用した教育相談体制構築事業

1,503万円

いじめや不登校など様々な悩みを抱える児童生徒を対象として、SNSを活用した教育相談を実施します。



## 誰もが暮らしやすいまちへ

### 低所得者・子育て世帯向けプレミアム付商品券

28億6,255万円

消費税率引上げによる低所得者及び低年齢の子どもを持つ世帯への影響を緩和するとともに、地域における消費の喚起・下支えのためのプレミアム付商品券を販売します。

### ユニバーサルデザイン(UD)タクシー導入促進事業

4,000万円

高齢者や車いす利用者、来街者など誰もが利用しやすいUDタクシーの導入費用を助成します。



ユニバーサル都市・福岡  
UNIVERSAL FUKUOKA CITY

## 「福岡100」の推進～人生100年時代に向けて～ 福岡100

### シニア活躍応援プロジェクト

2,129万円

働きたい高齢者と企業の多様な雇用をマッチングする仕組みや環境をつくり、高齢者の就業を応援します。

### 福祉人材確保事業・外国人人材受入支援事業

2,337万円

介護人材の確保を図るため、業務効率化の支援、経営者研修や交流の場づくり、外国人人材の確保を進めます。



## 安心のまちづくり

### IoTを活用した子ども見守り事業

100万円

IoT端末機器を用いた位置情報確認サービスの導入により、小学生を対象とする見守り体制の強化を図ります。

### イノシン被害対策

3,848万円

イノシン被害を未然に防止するため、離島・山間部などにおける生息調査や集中捕獲活動、市民啓発を実施するとともに、箱わなの見回り省力化のためIoT等を活用した実証実験等を行います。

# 経済活動が活発で、「チャレンジ」できるまち

## 世界と繋がるスタートアップの街

エンジニアフレンドリーシティ福岡の推進  
5,104万円

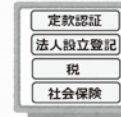
国内外の優秀なエンジニアが集まる環境を創出するため、赤煉瓦文化館にエンジニアカフェを設置し、エンジニア向けのイベント・情報発信等を実施します。



福岡市開業ワンストップセンター  
746万円

特区制度を活用し、開業手続きに関する申請や相談のワンストップ体制をスタートアップカフェ内に整備します。

ワンストップ  
開業窓口



## Society5.0(超スマート社会)へのチャレンジ

引っ越しに係る行政手続きのオンラインサービス等事業  
5,154万円

区役所における行政手続きの簡素化・待ち時間短縮のため、スマホ等を利用したオンラインサービスを実施します。

※Society5.0…先端技術を社会生活等に取り入れることにより、様々な社会課題を解決する試み



区役所窓口ICT活用推進事業  
(中央区役所モデル実施)  
1,439万円

マイナンバーカード保有者が利用できる申請書自動作成機を設置します。



## MICEで賑わい、潤う街

G20福岡推進事業  
1億4,832万円

G20福岡財務大臣・中央銀行総裁会議の成功に向け、開催支援やおもてなし、機運醸成事業を実施します。



大規模スポーツ大会の開催等  
21億3,615万円

ラグビーワールドカップ2019及び日本陸上競技選手権大会の開催、2021年の世界水泳選手権福岡大会の開催準備や機運醸成等を行います。



## 地場企業・商店街・働く人を応援する街

福岡市商店街プレミアム付商品券事業  
759万円

消費税率引上げに対応するため、市独自の地域消費喚起対策として、商店街が発行するプレミアム付商品券のプレミアム分の一部と事務経費を支援します。



eスポーツビジネス創出事業  
266万円

eスポーツを通じて、ゲーム関連産業等の新たなビジネス展開を支援します。





# 「都市基盤」が充実し、次の世代のために歩むまち

## 未来に向けて生まれかわるまち

天神ビッグバンの西のゲート  
～旧大名小学校跡地のまちづくり～ **619万円**

工事着手に向けた事業者との協議・調整を行います。



ウォーターフロントネクスト **4億7,110万円**

ウォーターフロント地区(中央ふ頭・博多ふ頭)再整備の事業者公募に向けた準備、第2期展示場の整備などを行います。

<関連>周辺道路の整備・検討  
4億2,362万円  
(築港石城町線の整備等)



歴史・文化に配慮した道づくり  
～博多旧市街プロジェクト～ **1億2,160万円**

博多部に点在する魅力や立ち寄り拠点等をまちなみでつなぎ、旧市街の形成を図るため、歴史・文化に配慮した趣のある道路に再整備します。



九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくり **6億4,813万円**

事業者公募に向けた、土地利用計画の検討や都市基盤の整備等、先進的なまちづくり「Fukuoka Smart East」の取組みを推進します。



## 文化・芸術・スポーツ活動拠点の整備・充実

拠点文化施設整備及び須崎公園再整備事業 **2,517万円**

文化芸術振興の新たな拠点となる施設と須崎公園の一体的な整備に向け、事業者の公募及び選定を実施します。

美術館リニューアル事業 **8億1,566万円**

PFI方式による美術館の運営、開館記念展の開催、屋外作品の設置等を行います。

## 憩い・潤いの空間の充実

一人一花運動 **4,493万円**

花と緑により、まちに彩りと潤いを与え、人のつながりや心の豊かさを生み出す一人一花運動の輪を広げ、花による共創のまちづくりを推進します。



動植物園再生事業 **8億4,134万円**

動植物園の魅力向上を図るため、ペンギン展示施設を整備します。



## 災害に強く環境に優しいまちづくり

救急隊の増隊 **3,495万円**

都心部を中心とした救急需要の増加に的確に対応するため、中央消防署平尾出張所に救急隊を増隊します。



福岡導水施設地震対策事業 **1億3,560万円**

福岡都市圏の水の約3分の1を担う福岡導水施設の耐震化を実施します。

# 各区のまちづくり

## 東区

### 子どもが健やかに育つまちづくり

92万円

関係機関と連携し、子どもの養育不安や児童虐待等の未然防止、早期発見、早期対応、再発防止など、サポートが必要な子どもたちのための取組みを進めます。

また、食を通じた子どもの健全育成のため、離乳食教室や食育出前講座を実施します。



### G20福岡周知事業

313万円

6月に開催されるG20福岡財務大臣・中央銀行総裁会議のPRのため、第3回なみき芸術文化祭において、G20を紹介するパネル展示や日本文化体験などの国際文化交流事業を行います。

また、外国人を対象とした歴史再発見ツアーを実施します。



## 博多区

### 放置自転車対策の推進

502万円

「博多駅筑紫口地下駐輪場」の開設にあわせて、博多駅筑紫口の駅前広場とその周辺の自転車放置禁止区域において、放置防止効果の高い「路面シート」の新設や更新を行います。



### 会社員のための健康情報定期便

64万円

50名以上の社員がいる博多区内の事業所(約900事業所)を対象に、社員の健康保持や健康増進に関する情報(生活習慣病対策、食中毒予防、感染症対策、メンタルヘルス等)を、年4回郵送により提供します。



## 中央区

### 安全・安心フェスタ 2019

286万円

中央区の安全で安心なまちづくりを推進するため、防災・消防・防犯・交通安全をテーマにした楽しみながら学べる参加型イベントを開催します。



### 市民に優しい庁舎環境の整備

1,470万円

全ての人に安心して快適に利用していただくため、広場の角の隅切りによる交差点待ちの歩行者の滞留スペースの確保、大型スロープの設置など、区庁舎前広場の整備を行います。



## 南区

### 桜原桜を活かしたまちづくり事業

351万円

伐採される運命にあった南区桜原の桜並木が、住民が詠んだ一首の短歌をきっかけに伐採を免れたというエピソードを広めるため、桜をテーマとした短歌を募集します。

また、関連イベントとして、SNSを活用したフォトコンテストを実施します。



### 地域防災支援事業

270万円

地域特性に応じた避難所運営マニュアルの作成及び訓練を実施するとともに、防災の知識を持った定住外国人や高校生に訓練への参加を促すことにより、地域防災力の強化を図ります。



## 城南区

### 大学のあるまちづくり

55万円

区内にある福岡大学、中村学園大学の高度な教育研究機能や設備、専門的知識を持つ人材などのリソースを生かし、地域課題の解決や地域・大学・行政の共創による魅力的なまちづくりを推進します。



### 食とくらしのリスクコミュニケーション

142万円

市民の安全で健康的な食生活のため、中村学園大学との共働事業「食カレッジ☆知って得してニッコりん」、幼児対象の手洗い劇、小学生対象の手洗い教室、食中毒予防講習会などを実施します。



## 早良区

### 共創による地域防災力の強化

274万円

地域や企業、大学等との共創による校区単位の避難所運営訓練を実施します。

特に、女性や子育て世帯の視点を生かした実践型の訓練や、事前学習・実践・振り返りを行うステップアップ型訓練の実施により、地域防災力の強化を図ります。



### 健康ツーリズム事業

90万円

人生100年時代の到来に備えて、市民の主体的な健康づくりを後押しするため、早良区内の食や自然、医療・介護ネットワークなどを活用した魅力的な健康ツーリズムを、旅行会社や航空会社などとの共創により推進します。



**福岡100**

## 西区

### 地域自主防災力の充実・強化

534万円

災害時における地域住民の安全確保につなげるため、校区防災計画の見直しや自主的な防災訓練を支援するとともに、九州大学と連携して外国人が円滑に避難できるように外国語表記の防災マップを作成し、地域自主防災力の充実・強化を図ります。



### 「西区まると博物館推進会」による西区の魅力の発信

215万円

市民ボランティア団体「西区まると博物館推進会」と西区役所が共働し、自然、歴史などの魅力を「西区の宝」に位置づけ、さまざまな取組みを通じて西区の魅力を発信します。



生の松原元寇防塁